

「テレワーク川柳」 作品解説

【社会】

ベストセラー「サピエンス全史」や「ホモ・デウス」などで知られる歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリ氏は、「農業の発明によって人類は巨大な力を手に入れたが、その力は一握りのエリートや貴族等に独占され、農民の圧倒的大多数は、狩猟採集を行ってきた祖先よりも劣悪な生活を強いられることとなった」と、独自の視点で述べています。

そして、「人類は、新しいテクノロジーを生み出して力を獲得してきたが、その力を賢く使い幸福を生み出す能力には長けていない」と、私たちに警鐘を鳴らしています。

常識とは何なのか、幸福とは何なのか、考えさせられます。

働き方についても同じことが言えるのではないのでしょうか。私たちは、会社に行くことが当然という価値観に捉われがちですが、それは決して当たり前のことではありません。

「大人たち 会社行くのは 思い込み」

「まず出勤 信じたあの頃 社畜かも」

これらは、そういうことを考えさせてくれる作品です。

「テレワーク 活かす会社に 人集う」

最近の新卒大学生は、個人の生活と仕事の両立を重視する傾向が高くなり、それが彼らの会社を選ぶ基準にもなってきています。テレワークは人材確保にも大きな力を発揮します。

今年は元号が変わり、新しい時代がやって来ます。人々の幸福の在り方が見直される時代となり、働き方についても、新しい価値観が広まっていくのではないのでしょうか。

「新元号 働き方も 新時代」

新しい働き方が社会に浸透していくことが期待されます。

「テレワーク川柳」 作品解説

<コラム① 人材確保に有効なテレワーク>

少子高齢化が進み、人手不足が我が国の大きな課題となつていますが、昨年の準グランプリ作品「自宅なら働ける人果てしなく」（二宮村度）にも見られるように、テレワークは、この問題に対して大きな効果を発揮します。

企業の人材確保にも！
自然豊かな地方でも！
地方の人材活用にも！

人材難？
視点変えよう
テレワーク
かじ

テレワーク
薦めた会社に
恩返し
さりぼぼ

新卒が
選ぶ会社に
テレワーク
にせぐるめ



テレワーク
地方創生
切り札に
らくちゃん



テレワーク
地域格差も
生じない
フーマー

「テレワーク川柳」 作品解説

【多様な働き方】

総務省の「通信利用動向調査」によると、テレワーク未実施企業が挙げる「テレワークを導入しない理由」の圧倒的第1位は「テレワークに適した仕事がない」ことだそうです。

実際、「我が社（うちの部署）は、業種的（業務の性質上）テレワークには馴染まない、関係ない」といった声が多く見られますが、果たして本当にそうなのでしょうか。

日経産業新聞が、ある大手食品メーカーの事例を紹介していました。その企業のある工場を調査したところ、週報・月報や作業マニュアルの作成、棚卸し作業に係る数値のシステム入力など、勤務するすべての社員が一部の業務で在宅勤務が可能であることが分かったそうです。

テレワークを導入しないのは、テレワークに関する理解・認識不足が原因の場合もあるのではないのでしょうか。

「できるじゃん 工場勤めの オレにでも」（グランプリ賞）
「『関係ない』 試してみたら 『半端ない!』」
は、こうしたことに焦点を当てた作品です。

テレワークは、育児・介護の実施者に留まらず、男女問わずすべての社員が対象になり得ます。そして、障がいを持つ方もテレワークなら仕事をすることが出来ます。

「足悪く こんな時代を 夢見てた」
働く意欲を持つ方々が就業することで、企業にとっても就業者にとっても社会にとっても大きなメリットが生まれます。

テレワークの導入・推進には、経営者層の役割も非常に大きいとされます。トップが理念を持って改革を進めれば、会社は前向きに進むでしょう。「社長だけ 家から参加の 役員会」という状況がどんどん生まれることが期待されます。

「テレワーク川柳」 作品解説

【上司部下】

テレワークや働き方改革を推進するうえで大きな障壁となるものに「粘土層」の存在があります。

「ライフコース多様化とテレワーク部会」では、この言葉を、古い価値観や既存のやり方に固執して業務改革などの新しいチャレンジに取り組もうとしない「中間管理職」を意味する言葉として使ってきました。

部会で議論を深める中、「粘土層」は、方針と結果が示されればテレワークに一定の理解を示す傾向が見られる一方、会社方針であっても、頑として首を縦に振らない層が存在することが分かってきました。

部会では、この層を、新たに「岩盤層」と名付けました。

「岩盤層」は、経営トップ層、役員・組織長、一部の中間管理職などに見られ、頑なに自己の主張を曲げません。このような層が存在すると、配下の社員が影響を受けネックとなります。

彼らには、「自らの意見」としてテレワークが必要であると考えるように持っていく必要があります。

「岩盤層 骨折以来 推進者」

「テレワーク 深い粘土に 足とられ」

などは、こうした抵抗勢力のことを謳った作品です。

岩盤層も、自分が骨折して入社出来ない状況になって、初めてテレワークの便利さ・素晴らしさを実感出来るのですね。

他方、サラリーマンは、職場の上司だけでなく、時には家庭の中にもう一人の上司がいることもあるようです。

「これやって 上司と妻の 二重奏」

テレワークをやっている、ということも起こり得ますね。

「テレワーク川柳」 作品解説

【働き方（仕事）】

テレワークは、ICTを活用し時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であり、様々なメリットをもたらします。

出先から離れたオフィスに戻ることなくカフェで報告書を書くことで移動時間を短縮出来ます。週に1回でも在宅勤務をすれば、通勤による心身への負担が軽減され、家庭サービスや余暇など時間も有効活用出来ます。雪などで交通が混乱している時も、テレワークなら負担なく仕事出来ます。

「好きな場所 好きな時間に マイワーク」

「テレワーク 増える笑顔と 減る疲れ」

「混乱の ダイヤ横目に テレワーク」

などは、そうしたテレワークの便利さを表した作品です。

「テレワーク 隣で妻も テレワーク」

場合によっては、夫婦ともにテレワークという状況が生まれることもあるかもしれませんね。隣同士で仲良くお茶菓子でも食べながらテレワークをやれば、仕事も楽しくなりますね。

こうしたテレワーク。せめて自宅での仕事環境を良いものにしたと思う人も多いかと思えます。

「部長より 良い椅子買って テレワーク」

オフィスでは頭の上がない部長よりも良い椅子に座ることで、ささやかな喜びを得ようとする人もいるかもしれませんね。

「テレワーク IT知識 求められ」

テレワークを行う場合、システムやツールを使いこなす必要も出てきますね。事前に研修を行ったり、サポートデスクを設けたりすると、苦手な人も助かるでしょう。使っていくうちに、どんどんスキルが向上してくると嬉しいものですね。

「テレワーク川柳」 作品解説

＜コラム② 通勤時間削減や交通対策等への効果＞

通勤時間が削減できることで、ワークライフバランスや業務効率の向上などに大きな効果が上がっています。

台風や大雪などの際にもテレワークは大きな効果を発揮しますね。

テレワークによる交通混雑対策については、東京オリンピック・パラリンピックで大いに期待されています。

「テレワーク川柳」平成29年版に「五輪時の 交通対策 これ一番」（ワークランバランス）という作品がありましたが、その後、「テレワーク・デイズ」施策など、国を挙げて対策に取り組み、それを機にテレワークを始める人も増えてきました。



ロスタイム
解消されて
価値を生む
安田蝸牛
(やすだかぎゅう)



会社行く
間にできる
一仕事
あゆか



テレワーク
五輪成功
カギ握る
山宗雲水



テレワーク
帰宅難民
うみださぬ
PON5



「テレワーク川柳」 作品解説

【働き方（職場）】

皆さんは、仕事でメールなどのやり取りをしている相手が、今、どこで仕事をしているか、考えたことがあるでしょうか。

その人は、必ずしもオフィスにいるとは限りません。

自宅でテレワークをしている場合もあれば、空港のラウンジ、出張先のホテル、あるいは飛行機の中で仕事をしていることもあり得ます。「今、〇〇にいます」と言われて初めてそれに気付くのが通常ではないでしょうか。

ネットワークで世界中が繋がっている今、それほど仕事をする場所は自由であり、かつ、どこにいても同じように仕事ができる、ということが言えましょう。

「カエル鳴く 田舎の画面 グローバル」

どんな田舎にいても、世界中と繋がり、カエルの声を聞きながら国際会議に参加することだって出来ます。

「離れても ぐっと縮まる 社間距離」

自宅にいても、オフィスと密に繋がる環境があれば、会社との距離を意識せずに仕事をする事が出来るでしょう。

「台風も 物ともせずに 報告書」

台風で交通が混乱していても、在宅勤務で通常通りの仕事が出来、業務を滞らさせずに済みます。テレワークは、企業のBCP（事業継続）対策としても有効です。

「マイホーム ここが我が家と 実感し」

毎日会社で遅くまで仕事をしてきた人たちは、自宅よりも会社にいる時間が遥かに長いことでしょう。テレワークをし自宅で過ごすことで、「マイホーム」を実感するのかもしれない。

「テレワーク川柳」 作品解説

【コミュニケーション】

グーグル社が行った生産性に関する研究で、チームの生産性向上に最も寄与する要素は「心理的安全性」であるという結果が出たそうです。

多様な人材がメンバーとなっている組織（チーム）において、自分が組織に受け入れられているという安心感（自分が自分らしく安心して働けること）、その礎となるメンバー間の信頼が、生産性を上げるうえで非常に重要な要素である、という調査結果は、大きな示唆を与えてくれます。

「テレワーク 『自由と孤独』を 教えられ」

自由な働き方であるテレワークですが、テレワークを行う人、特に常時テレワークを行う人は、会社の人たちとのコミュニケーション不足に起因する「孤独感」を持つ懸念があります。

彼らといかに上手くコミュニケーションを行い、安心して働けるように出来るかは、大きな課題と言えましょう。

常時接続システムを導入し、テレワーカーたちがいつでもコミュニケーション出来るようにして「孤独感」を取り除き、働きがいに結びつけ、生産性向上を図っている会社もあります。

「課長との 会話が增えた オフィスより」

テレワーク導入への懸念事項として、コミュニケーション不足の問題はよく言われているところです。

しかし、オフィスにいればコミュニケーションが出来ているかと言えば、必ずしもそうではないのではないのでしょうか。

日頃、上司は部下の仕事の状況をどれだけ把握出来ているか、考えてみる必要があります。毎回上司に業務報告を行うテレワーカーの方が、オフィスにいる人より上司とのコミュニケーションは密である、との指摘もあります。

「テレワーク川柳」 作品解説

【育児・介護】

テレワークは、決して育児・介護を行う人たちだけの制度ではありませんが、それでも、育児・介護を行う人たちにとって、大きな助けになるものであることは間違いありません。

育児や介護のための離職を防止するためにテレワーク制度を導入する会社も多く見られます。

まずは、育児・介護者を対象にテレワークを導入し、徐々に対象者をすべての社員に拡大する、というプロセスを踏む会社も多いようです。

テレワーク導入の目的や対象範囲は、会社により区々であり、会社の実情や社員たちのニーズに応じて決めるのが望ましいと言えます。社員が納得できる制度設計が必要です。

「テレワーク 介護支える 命綱」

少子高齢化社会において、介護をしなければならない人は益々増えていくことでしょう。

しかも、育児とは異なり、介護を行う人は、比較的年齢が高く、会社の中でも管理職など重要なポストにいる人が多いということ、また、介護はいつ終わるか分からず年を経るごとに厳しさが増していく、ということが大きな特徴です。

自分ですべてを背負い込まず、テレワークを上手く活用しながら、ケア・マネージャーを始めとする外部の方々とも連携・協力しながら介護を行う、という方法を取っている方も多く見られます。

「キーボード さわる手すぐに 子をなでる」

育児もまた、苦労は多いもの。仕事と育児のメリハリをつつつ、上手くバランスを取りながらやっていけたら良いですね。

「テレワーク川柳」 作品解説

【家庭】

自宅で仕事をする場合、オフィスにはない家族との交流や、自宅ならではの生活感溢れる出来事が見られるのではないのでしょうか。中には、ほろ苦いこともあるかもしれませんが、温かい気持ちになれることもきっと多いはずです。

「空調の ビルよりわが家の 風通し」

オフィスの冷房に冷やされて仕事をするより、自宅で自然の風を受けながら仕事が出来れば、どんなに心地よいことか。

「もこみちの 味を再現 昼休み」

オフィスでは、外食やコンビニ弁当になりがちですが、自宅なら、自ら料理に腕を振るうことも出来ますね。

「『今日在宅』 言った瞬間 妻不機嫌」

テレワークは、日頃の家族との人間関係が跳ね返ってきます。楽しく平穏にやりたいですが、ままならないのも世の常ですね。

「迷ったら 後ろで妻が それいいね」

妻や夫は、ありがたい第三者。彼らの意見が仕事の参考になることも多いのではないのでしょうか。

「ドア越しに 仕事終わる？と 妻が聞く」

そろそろ夕食の支度が終わる頃。仕事が終わってすぐに食事が出来るのは、こんな幸せなことはありません。

「にねんせい とうこうみれて ぱぱなみだ」

1年生の時は、入学式などでその姿を見ることが出来ても、2年生になると、なかなか子供の登校の様子は見れないもの。テレワークで子供の姿を見られるのは本当に貴重なことですね。

「テレワーク川柳」 作品解説

<コラム③ 家庭や社会へのテレワークの浸透>

テレワークは、家庭やご近所にも浸透してきています。

テレワークを始めたばかりの場合、こんなことが起こることもあります。



ご家族との大切な時間が増えるにつれ、お互いを思いやり、みんなが喜んでいます。

最大の 抵抗勢力
妻だった 家にいられず

上司より 妻の評価が
嬉しいな 一番大事



追い込みに 気が利く我が子
お茶を出し 社長

ペットもご主人が在宅テレワークの日は喜んでいきます。

愛犬も 賛成してる
テレワーク はますだれ



ご近所でもこんな光景が見られるようになりました。

Me Tooの 声が増える
テレワーク はますだれ

